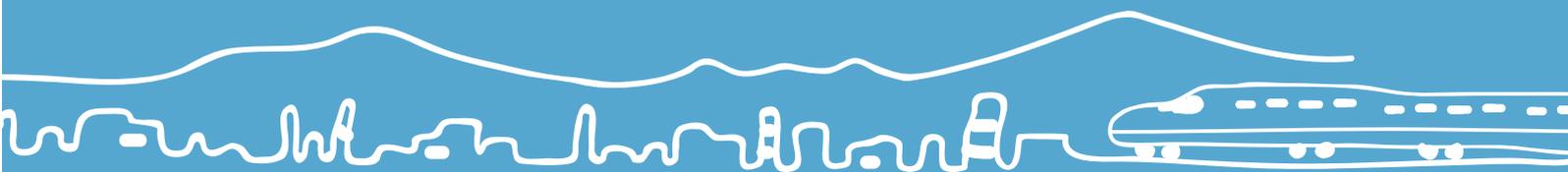


第2次八代市総合計画 第2期基本計画

# 八代市重点戦略

令和4年2月  
八代市

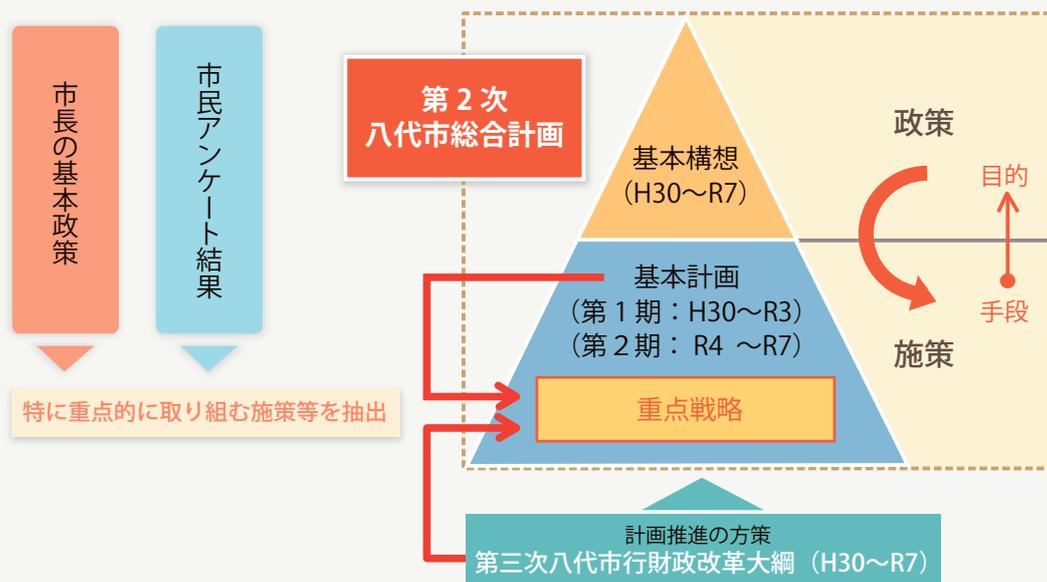




## (1) 八代市重点戦略とは

「八代市重点戦略」とは、第2次八代市総合計画第2期基本計画（計画期間：令和4年度～令和7年度）及び第三次八代市行財政改革大綱（計画期間：平成30年度～令和7年度）において、最小の経費で最大の効果を念頭に、限りある財源を重点的に投入するため、計画期間の4年間で、特に重点的に取り組む施策などを取りまとめたものです。

この重点戦略に掲げられている取組については、市長の基本政策や市民アンケートの結果等に基づき、市の施策として優先度の高いものを選定しています。



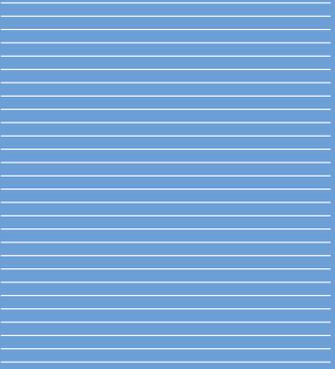
## (2) 進捗管理について

各取組には達成状況や成果を図るための指標として、成果指標や活動指標を設定し、毎年検証・評価を行うとともに、その結果については、次年度の予算編成に係る基礎資料として活用します。

また、経過年数2年を目途に、進捗状況に応じた内容の見直しを行っていきます。

### (3) 八代市重点戦略の体系

ビジョン	重点取組
〈重点戦略1〉 災害に強い豊かな 「まち」の実現	(1) 坂本町の創造的復興を加速化
	(2) 自助や共助の推進による「逃げ遅れゼロ」の実現
	(3) 「地域の避難所」をはじめとした「防災拠点施設」の充実
	(4) 災害に強い道路ネットワーク整備による国土強靱化の推進
	(5) 地域特性や利用者視点に基づく公共交通サービスの更なる充実
〈重点戦略2〉 次代を担う子ども の育成と安心な 暮らしの創生	(1) 子育て世帯の経済的負担の軽減と子育て環境の充実
	(2) 「ICT教育日本一」を目指し「学校情報化優良校」認定率100%を達成
	(3) 学校トイレ洋式化の推進など安全・安心で快適な教育環境の整備
	(4) 人生100年時代に向けたリカレント教育の支援
	(5) 高齢者や障がい者等が自分らしく安心して暮らせるまちの実現
〈重点戦略3〉 稼げる農林水産業 の実現	(1) 農林水産業のデジタル化へチャレンジする人や企業を支援
	(2) 女性農業者を含む新たな担い手の確保・育成を推進
	(3) 「フードバレーやつしろ」の推進
	(4) 八代産暈表の需要拡大
	(5) 観光農園などの地域資源をいかした地域づくりの支援
〈重点戦略4〉 地域の魅力と にぎわいの創出	(1) 積極的な企業誘致及び誘致企業への強力なサポート
	(2) 魅力ある地域資源を最大限活用した交流人口の拡大
	(3) 新庁舎等を活用した中心市街地への人の流れの創出
	(4) 人と企業の新たなチャレンジへの支援と未来を担う若手産業人材の育成
	(5) お祭りでんでん館等を活用した歴史・伝統文化の振興
	(6) 「八代・天草シーライン構想」の早期実現
	(7) 八代港の振興と物流拠点構想の着実な促進
〈重点戦略5〉 持続可能な 選ばれるまち “スマートシティ やつしろ”の推進	(1) 「市政懇談会」など様々な手法を活用した「市政の見える化」の更なる推進
	(2) デジタル化の推進による「デジタル市役所」の構築
	(3) “誰一人取り残さない” デジタル化の推進
	(4) 「移住・定住促進補助金」の創設
	(5) ワークেশョン環境の整備による関係人口の創出
	(6) 持続可能な支所地域の振興
	(7) やつしろ国際協会を中心とした多文化共生の促進と国際交流の活性化
	(8) 「2050年カーボンニュートラル」に向けた取組の推進
	(9) 将来にわたり安定した行財政運営の確立
〈プラス1〉 新型コロナウイルス 感染症への対応	(1) 感染拡大防止に関する周知・啓発と迅速な情報提供
	(2) 安全で円滑なワクチン接種の実施
	(3) 国・県と連携した市民生活や地域経済への影響の最小化
	(4) コロナ禍における教育活動の円滑な推進



重点戦略

# 1

---

## 災害に強い 豊かな「まち」の実現

災害公営住宅の整備などの住まいの確保や、坂本支所を含む住民生活に必要な施設の早期再建、医療提供体制の確保など坂本町の創造的復興を加速化させるとともに、全ての市民が確実に避難できる「逃げ遅れゼロ」の実現、交通ネットワークの多重化による防災力の向上など、あらゆる災害に強く、安心できる強靱なまちづくりを進めます。

Priority strategy



# 1

## 坂本町の創造的復興を加速化

### 重点取組 の方向

災害公営住宅の整備や安全な住宅地を確保するとともに、坂本支所を含む住民生活に必要な施設の早期再建と地域における医療提供体制の確保を進めていきます。また、創造的復興のため、坂本スマートインターチェンジの設置を目指すとともに、国と連携した、球磨川・坂本地区の“かわまちづくり”を推進します。

### 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
被災者の方々のすまいの再建率	-	<b>100%</b>
災害公営住宅の建設数 (累計)	-	<b>22戸</b>
坂本支所等公共施設整備の進捗率	-	<b>100%</b>
坂本町における市管理道路等の復旧進捗率	0.1%	<b>100%</b>



## 2

### 自助や共助の推進による 「逃げ遅れゼロ」の実現

重点取組  
の方向

「逃げ遅れゼロ」の実現に向け、情報伝達の徹底や避難体制の構築を図るとともに、自主防災組織との連携強化による地域防災力の向上を図ります。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
緊急時における避難体制や市からの情報提供が整ってきたと感じる市民の割合	45.9%	<b>70.0%</b>
防災行政情報通信システムの登録世帯数	0 世帯	<b>43,300 世帯</b>



# 3

## 「地域の避難所」をはじめとした 「防災拠点施設」の充実

### 重点取組 の方向

災害時に地域の防災活動の拠点となる「防災拠点施設」を整備するとともに、学校体育館等への空調設備の整備を行うなど、「地域の避難所」としての機能強化を図ります。

### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
体育館等にエアコンを設置した校区の数	2 校区	<b>20 校区</b>



## 4

## 災害に強い道路ネットワーク整備による 国土強靱化の推進

### 重点取組 の方向

国道3号や南九州西回り自動車道、地域幹線の国県道などの広域的な道路の整備を促進するとともに、都市計画道路などの幹線道路や市道、林道等の整備を推進し、災害に強い道路ネットワークを構築します。

### 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
自動車などによる市内外の移動がスムーズになったと感じる市民の割合	54.2%	<b>59.0%</b>
主要幹線道路の整備率	32.4%	<b>84.4%</b>
都市計画道路西片西宮線の整備率	56.2%	<b>84.9%</b>
林道の舗装率	86.0%	<b>88.0%</b>



# 5

## 地域特性や利用者視点に基づく 公共交通サービスの更なる充実

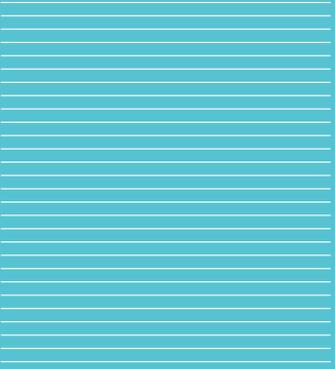
### 重点取組 の方向

路線バスや乗合タクシーの利用促進を行うとともに、地域の特性や利用者のニーズに応じた公共交通サービスの提供を進めます。

#### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
路線バスや乗合タクシーなどの公共交通機関を利用しやすいと感じる市民の割合	26.4%	<b>30.0%</b>
バス・乗合タクシーの年間利用者数	58.9 万人 (R1)	<b>63.6 万人</b>





重点戦略

# 2

---

## 次代を担う子どもの育成と 安心な暮らしの創生

次代を担う子どもを安心して産み育てることができるよう、子育て支援の更なる拡充と、「生きる力※」を育むための教育活動と環境整備を推進します。また、「人生100年時代」に向けて、誰もが自分らしく暮らしていくための地域福祉の充実と、多様で柔軟な働き方や生きがいがいくりを積極的に支援します。

※生きる力…知・徳・体のバランスのとれた力のこと。変化の激しいこれからの社会を生き抜くために、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の知・徳・体をバランス良く育てることが大切となっている。

Priority strategy



# 1

## 子育て世帯の経済的負担の軽減と 子育て環境の充実

### 重点取組 の方向

子育てに伴う負担軽減を図るため、「出産祝い金制度」の創設や、幼児教育・保育の完全無償化を実施します。また、母子健康手帳アプリなどICTを活用した子育て支援の充実や、子育てと仕事の両立に向けたサポートによる女性活躍の更なる推進を図ります。

### 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
妊娠・出産期における保健サービスが整っていると感じる市民の割合	38.4%	<b>40.0%</b>
子育て環境が整っていると感じる市民の割合	43.3%	<b>48.0%</b>
ICTを活用する子育て支援事業数	0 事業	<b>4 事業</b>
出産祝い金支給対象の子ども数	0 人	<b>800 人</b>



## 2

## 「ICT教育日本一」を目指し 「学校情報化優良校」認定率100%を達成

### 重点取組 の方向

ICT教育の環境整備を進め、1人1台のタブレット端末を効果的に活用し、教科指導におけるICT活用や情報教育、校務の情報化等に取り組む学校を積極的に支援することで、学校情報化優良校の認定率100%を目指します。

#### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
小・中・特別支援学校におけるICT教育の環境整備が十分に行われ、充実していると感じる保護者の割合	-	<b>60.0%</b>
学校情報化優良校の認定校の割合	0%	<b>100%</b>



# 3

## 学校トイレ洋式化の推進など 安全・安心で快適な教育環境の整備

### 重点取組 の方向

老朽化した学校トイレの改修や便器の洋式化など、衛生環境の改善を図り、快適な教育環境の整備を推進します。

#### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
小中学校トイレの洋便器率	41.0%	<b>66.9%</b>



# 4

## 人生100年時代に向けた リカレント教育の支援

### 重点取組 の方向

人生100年時代に向け、市民一人一人が生きがいを持ち、心豊かな人生を送れるよう多様な学びの機会を提供するとともに、時代の変化に応じたスキルが学べるリカレント教育※の推進や、DX化に対応できる人材育成を行います。

### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
リカレント教育及びデジタル社会実現に向けた講座等の受講者数 (延べ人数)	94人 (R1)	540人
事務的職業及びIT関連職業の求人倍率	0.46倍	0.50倍

※リカレント教育…生涯にわたって繰り返し学び続けていくことであり、学校教育からいったん離れたあとも、キャリア形成や子育て中・子育て後の就労等、それぞれ必要なタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくための社会人の学びのこと。



# 5

## 高齢者や障がい者等が自分らしく 安心して暮らせるまちの実現

### 重点取組 の方向

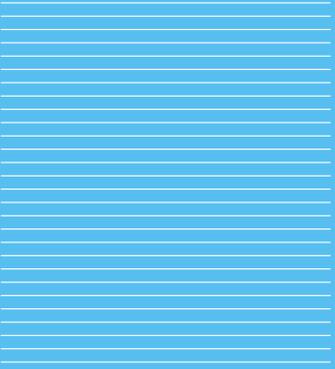
地域住民や地域の多様な主体が参画し、高齢者や障がい者等を地域で支える包括的支援体制を構築するとともに、誰もが住み慣れた場所で自分らしく暮らしていくことのできる「地域共生社会」の実現を目指します。

### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
高齢者への支援が整っていると感じる市民の割合	43.9%	<b>45.0%</b>
障がい者サポーター※の人数	1,310人	<b>2,300人</b>

※障がい者サポーター…障がいの特性を理解し、日常生活や社会生活を支援する人を養成する目的で本市が実施する障がい者サポーター養成講座を受講した人。





重点戦略

# 3

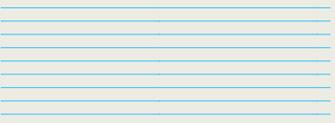
---

稼げる

## 農林水産業の実現

先進技術の導入や6次産業化等を積極的に推進するとともに、消費者に選ばれる新たな特産品の開発や販路拡大を支援することにより、生産者の所得向上を目指します。また、女性農業者を含む担い手の確保・育成や八代産畳表の需要拡大にも取り組みます。

Priority strategy



# 1

## 農林水産業のデジタル化へ チャレンジする人や企業を支援

### 重点取組 の方向

生産性の向上や作業の省力・軽労化を図るため、ロボット技術やICTの導入等を行う農林漁業者を支援し、「スマート農林水産業」の推進と「稼げる農業」の実現を目指します。

### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
八代市は農業が盛んであると感じる市民の割合	30.1%	<b>32.1%</b>
農業者総所得額	39 億円	<b>47 億円</b>
先端技術を活用した補助事業の件数 (累計)	26 件	<b>51 件</b>
担い手農家への農地集積率	69.0%	<b>80.0%</b>



## 2

## 女性農業者を含む 新たな担い手の確保・育成を推進

### 重点取組 の方向

「八代農業塾」により、若手農業者や就農を目指す高校生等を対象に、技術の向上と知識の習得を図り、次世代を支える担い手を育成します。また、女性が働きやすい環境づくりを進め、女性の新規就業を支援します。

#### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
農林水産業の担い手が確保されていると感じる市民の割合	14.6%	<b>15.6%</b>
人・農地プランにおける中心経営体数 (累計)	1,361 経営体	<b>1,410 経営体</b>
担い手農家への農地集積率	69.0%	<b>80.0%</b>



# 3

## 「フードバレーやつしろ」の推進

### 重点取組 の方向

選ばれる「やつしろ産農林水産物」の強化に向け、アサリ資源の復活に向けた取組や新たな特産品開発等への支援を行います。また、新たな販路の開拓や、八代港を活用した農産物輸出の強化を行うとともに、加工・流通・販売施設等の整備を支援し、6次産業化と地産地消を推進します。

### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
八代市の農林水産物や加工品などのブランド化が進んでいると感じる市民の割合	27.2%	<b>37.2%</b>
八代市の農林水産物、加工品などが都市部や海外で販売されていることを知っている市民の割合	50.8%	<b>60.8%</b>
市外食品製造メーカー等との新規取引件数	35 件	<b>50 件</b>
販路拡大のための商社的機能を持った拠点数	0 件	<b>3 件</b>



## 4

## 八代産暈表の需要拡大

重点取組  
の方向

民間企業等と連携を図り、全国的な一般消費者等を対象としたPR活動を展開し、八代産暈表の需要拡大を推進します。

## ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
八代市は農業が盛んであると感じる市民の割合	30.1%	<b>32.1%</b>



# 5

## 観光農園などの地域資源をいかした 地域づくりの支援

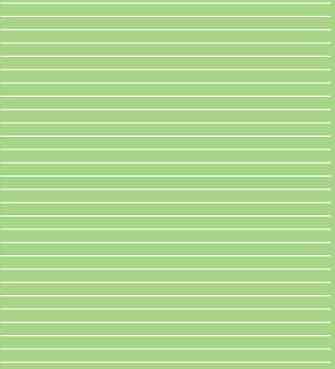
### 重点取組 の方向

八代地域で生産される豊かな農林水産物を活用し、収穫体験等のサービスを提供する仕組みを整備し、活力あふれる地域づくりを支援します。

#### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
収穫体験利用者数	135 人 (R1)	320 人





重点戦略

# 4

---

## 地域の魅力と にぎわいの創出

くまモンポート八代やお祭りでんでん館、日本遺産など魅力ある地域資源を最大限活用し、賑わいの創出や地域経済の活性化につなげます。また、八代に新たな活力を呼び込むために、誘致企業を強力にサポートするとともに、地域において挑戦する人と企業を積極的に応援し、若者にも魅力的なまちづくりを進めます。

Priority strategy



# 1

## 積極的な企業誘致及び 誘致企業への強力なサポート

### 重点取組 の方向

企業のニーズに応じた円滑な誘致を行うため、ワンストップで速やかに支援ができる誘致体制を構築するとともに、補助金を含む様々な支援で誘致企業をサポートし、「人と企業に選ばれるまち」を目指します。

### 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
市内で働くに当たり、自分が求める職種や企業があると感じる市民の割合	9.9%	<b>15.0%</b>
若者・子育て世代(20歳～34歳)が5年後に帰ってくる人数	351人	<b>360人</b>
市内高校の新卒者が管内に就職したいと思う割合	37.1%	<b>40.0%</b>



## 2

## 魅力ある地域資源を最大限活用した 交流人口の拡大

### 重点取組 の方向

SNS等を活用し、魅力ある観光コンテンツの情報発信力を強化するとともに、国・県と連携したサイクルツーリズムの推進や、八代市スポーツコミッションを中心としたスポーツ大会・合宿の誘致を進め、交流人口の拡大による地域の活性化に取り組みます。

### 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
観光入込客数	2,169,748 人 (R1)	<b>2,170,000 人</b>
全国規模のスポーツ大会が開催されるなど、競技スポーツが盛んであると感じる市民の割合	36.1% (R1)	<b>40.0%</b>
スポーツ大会・合宿に伴う宿泊者数	5,054 人 (R1)	<b>7,500 人</b>



# 3

## 新庁舎等を活用した 中心市街地への人の流れの創出

### 重点取組 の方向

新たなランドマークとなる新庁舎やお祭りでんでん館をはじめ、周辺の歴史・文化施設から中心市街地に向けて人の流れを創出し、にぎわいのあるまちづくりを促進します。

#### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
中心市街地が賑わっていると感じる市民の割合	5.1%	<b>10.0%</b>
中心商店街の歩行者・自転車通行量	6,327 人	<b>9,500 人</b>



## 4

## 人と企業の新たなチャレンジへの支援と 未来を担う若手産業人材の育成

### 重点取組 の方向

新しい事業に取り組む企業の成長を支援し、地域をリードできる企業の育成を図るとともに、「やつしろ未来創造塾」による未来を担う若手産業人材の育成を産学官金で連携して支援し、若者にも魅力的な「まち」を創出します。

### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
市内で働くに当たり、自分が求める職種や企業があると 感じる市民の割合	9.9%	<b>15.0%</b>
未来創造塾受講生の新規事業実施率	0%	<b>50.0%</b>



# 5

## お祭りでんでん館等を活用した 歴史・伝統文化の振興

### 重点取組 の方向

お祭りでんでん館等の活用を通して、ユネスコ無形文化遺産に登録された八代妙見祭をはじめとする民俗文化財や、日本遺産「八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡」の認定ストーリーに沿った歴史文化遺産など、本市の持つ歴史・伝統文化の保存・継承と情報発信に取り組みます。

### ■ 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
歴史文化遺産が保存・活用されていると感じる市民の割合	-	<b>38.0%</b>
八代市民俗伝統芸能伝承館（お祭りでんでん館）の入館者数（累計）	-	<b>60,000人</b>



## 6

## 「八代・天草シーライン構想」 の早期実現

### 重点取組 の方向

県南地域と天草地域の一体的な発展と、道路ネットワークの多重化による国土強靱化の推進に向け、国・県への更なる要望・啓発や県南市町村との連携を強化し、「八代・天草シーライン構想」の早期実現を促進します。

#### ■ 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
八代・天草シーライン構想実現に向けた国への請願署名数 (累積)	0人	50,000人



# 7

## 八代港の振興と物流拠点構想の 着実な促進

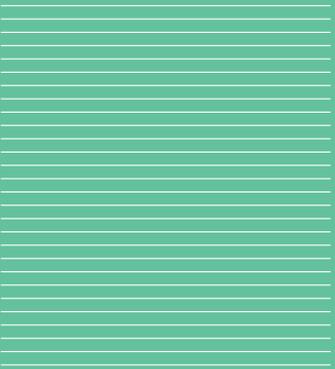
### 重点取組 の方向

加賀島地区の開発に向け、国・県との連携を強化するとともに、八代港を中心とした物流拠点構想の実現に向けた取組を進めます。また、くまモンポート八代を活用した自主イベントの開催や、国際クルーズ船入港に伴うインバウンド需要の取り込み等を行い、地域経済の活性化を図ります。

### 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
八代港コンテナ取扱貨物量	23,623TEU	<b>30,000TEU</b>
クルーズ船寄港数	19回 (R1)	<b>100回</b>
くまモンポート八代でのイベント回数	-	<b>10回</b>





重点戦略

# 5

---

## 持続可能な選ばれるまち “スマートシティやつしろ”の推進

市民に信頼され、利用しやすい市役所づくりと自治体のデジタル化など、新たな取組へ積極的に挑戦するとともに、これまで取り組んできた地方創生の流れを止めることなく、地域資源の更なる磨き上げと魅力を発信し、将来にわたり持続可能で魅力ある、選ばれるまち“スマートシティやつしろ”を目指します。

Priority strategy



# 1

## 「市政懇談会」など様々な手法を活用した 「市政の見える化」の更なる推進

### 重点取組 の方向

「市政懇談会」の開催など、対話を第一とした市政運営に取り組むとともに、市ホームページや広報紙、SNSなどあらゆる媒体を活用した広報広聴活動を積極的に行い、「市政の見える化」の更なる推進を図ります。

### 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
市政に意見を伝える環境が整っていると感じる市民の割合	20.3%	<b>31.5%</b>
広聴活動（市政懇談会・まちづくり出前講座・市民と市長とのテーマトーク・市長への手紙）による参加者総数（市長への手紙は受付件数）	3,212人 (R1 ※)	<b>3,600人</b>
市ホームページアクセス数と市公式SNS（Facebook・twitter・LINE・YouTube）の登録者数の総数	592,048人 (R1 ※)	<b>659,000人</b>

※現状値の内訳に令和元年度の数値を一部含む



# 2

## デジタル化の推進による 「デジタル市役所」の構築

重点取組  
の方向

多様化する生活スタイルに対応し、柔軟な行政サービスの提供を図るため、デジタル技術を活用し、24時間いつでも、どこでも利用できる「デジタル市役所」を構築します。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
オンラインでできる行政手続きの数	17 手続き	<b>100 手続き</b>
オンライン予約等ができる公共施設の数	11 施設	<b>79 施設</b>



# 3

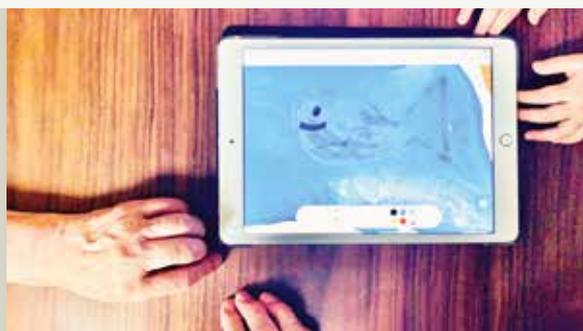
## “誰一人取り残さない” デジタル化の推進

### 重点取組 の方向

デジタル機器の操作に関するサポート体制の充実を図るとともに、誰もがメリットを感じられる“誰一人取り残さない”デジタル化の推進と、地域課題の解決を図ります。

#### ■ 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
インターネットがストレスなく利用できる環境にあると感じる市民の割合	44.7%	<b>60.0%</b>
スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器を操作して、各種オンラインサービス等を利用できる市民の割合	-	<b>66.0%</b>
公共施設（防災・社会教育・観光施設）のWi-Fi化率	25.0%	<b>72.5%</b>



# 4

## 「移住・定住促進補助金」の創設

重点取組  
の方向

新しい働き方や生活スタイルの普及に伴う地方への移住を促進し、自然豊かな本市での暮らしを希望する人たちを応援するため、ワンストップ窓口の整備を行うとともに、「移住・定住促進補助金」を創設します。

■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
人口社会増減率	△ 0.35%	△ <b>0.20%</b>
転入者数	3,771 人	<b>4,150 人</b>
補助金交付件数実績 (累計)	0 件	<b>20 件</b>



# 5

## ワーケーション環境の整備による 関係人口の創出

### 重点取組 の方向

情報通信関連企業の集積が進む中心市街地やロケーションが魅力的な場所等にワーケーション環境を整備することで、リモートワークなどによる長期滞在を推進し、ビジネスを軸とした関係人口の創出・拡大につなげます。

### ■ 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
企業振興促進条例及び情報通信関連企業立地促進補助金の申請企業数 (累計)	5 件	<b>30 件</b>



# 6

## 持続可能な支所地域の振興

### 重点取組 の方向

支所のスペースを有効活用した地域振興拠点の整備など、拠点機能の充実を図ります。また、市民協働で中長期的な地域振興に関するビジョンや計画の策定・見直し等を行い、地域特性や固有の資源をいかした地域の活性化に取り組みます。

### ■ 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
居住する地域での地域振興が活発に行われていると感じる市民の割合	-	<b>30.0%</b>



# 7

## やっしろ国際協会を中心とした 多文化共生の促進と国際交流の活性化

### 重点取組 の方向

やっしろ国際協会を中心に、官民一体となって地域の国際化や多文化共生※社会の実現に向けた取組を推進するとともに、友好都市をはじめとする海外との積極的な交流を展開します。

### 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
市内で生活している外国人との関わりが増えてきたと感じる市民の割合	32.4%	<b>37.0%</b>
海外とのつながりや関わりが増えてきたと感じる市民の割合	-	<b>37.0%</b>
海外の文化や習慣に触れるイベント等の実施回数	16回 (R1)	<b>20回</b>

※多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。(総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より)



# 8

## 「2050年カーボンニュートラル」 に向けた取組の推進

### 重点取組 の方向

「2050年カーボンニュートラル※」の実現に向けた計画を策定し、太陽光やバイオマス発電などの再生可能エネルギーの普及・利用促進など、脱炭素化の取組を推進します。

### ■成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
環境にやさしいまちづくりが進んでいると感じる市民の割合	-	<b>40.0%</b>
住宅用太陽光発電システム普及率	12.9%	<b>16.4%</b>

※カーボンニュートラル…二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。(出典：環境省 HP)



# 9

## 将来にわたり安定した 行財政運営を確立

### 重点取組 の方向

効率的な行政運営と弾力性のある財政構造を確立するため、第三次八代市行財政改革大綱に基づく行財政改革等を実行し、持続可能な行財政運営を行っていきます。

### 成果指標

指標名	現状値 (R2)	目標値 (R7)
経常収支比率	95.0%	<b>94.0%</b>
B P R※の実施により業務プロセス見直しを行った業務数 (累計)	-	<b>20 業務</b>

※B P R…Business Process Reengineering (ビジネス・プロセス・リエンジニアリング) の略で、現在の業務プロセスを詳細に調査・分解し、住民サービスの質の向上や人的リソースの活用等の面からどのような問題点があるかを徹底的に分析して、業務プロセスそのものの再構築を図ること。(自治体 DX 全体手順書より)



## 重点戦略プラス1

# 新型コロナウイルス感染症への対応

### (1) 感染拡大防止に関する周知・啓発と迅速な情報提供

市民の生命及び健康を守るため、引き続き、感染拡大防止に関する周知・啓発の徹底と、デジタル技術を活用した迅速な情報提供に努めます。また、感染リスクの低減を図るため、感染対策の徹底やテレワーク、時差出勤の推進等と呼びかけるとともに、必要に応じて不要不急の外出自粛のお願いなどを行います。

### (2) 安全で円滑なワクチン接種の実施

ワクチンの有効性や安全性、さらに追加接種や対象年齢の拡大など、市民に分かりやすく情報を伝えるとともに、接種を希望する全ての方が、ワクチンを安全・安心に接種できるよう、関係機関と連携し、接種体制の整備を行います。

### (3) 国・県と連携した市民生活や地域経済への影響の最小化

国や県と連携し、市民の生活支援や事業者に対する経営継続に向けた支援を実施します。また、市のにぎわいを取り戻すため、消費喚起策等を積極的に展開し、地域経済活動の回復と活性化を図ります。

### (4) コロナ禍における教育活動の円滑な推進

「新しい生活様式」を実践し、感染症に関する正しい知識を深めながら、子どもたちの心身のケアに努めます。また、長期にわたる授業の中断など、不測の事態が発生した場合においても、オンライン授業の実施など、ICTを活用した学習環境を推進し、子どもたちの健やかな育ちと学びを保障します。

第2次八代市総合計画 第2期基本計画  
八代市重点戦略

発行：熊本県 八代市

編集：八代市 総務企画部 企画政策課

〒866-8601 熊本県八代市松江城町 1-25

電話：0965-33-4104 FAX：0965-33-5125

<http://www.city.yatsushiro.lg.jp/>



*Yatsushiro city*

